

まちづくりキャッチフレーズ

あふれる笑顔 豊かな緑

交流とふれあいのまち倉吉



美味しい秋が来た！ 倉吉観光梨園開園式

古川沢地内の倉吉観光梨園で、8月28日(日)、沢山団地管理組合の関係者、古川沢自治公民館そして上北条保育園の園児など総勢約150人が集まって、今年の観光梨園の開園式が行われました。

今年の梨は、糖度で昨年に次ぐ2番目の甘さとなり、ここでは「より新鮮で完熟した梨」が味わえます。

開園式のあと、さっそく園児たちは、観光梨園に行き、梨がりを体験し、片手では持ちきれないほどの大きな梨の重さを体験しました。

この日は、秋喜の倉吉梨選果場で初出荷もありました。

●主な内容●

- いよいよ国勢調査がはじまります…2～3
- 倉吉いきいき健康計画(改訂版)……………4
- まなびピア鳥取2005……………5
- 倉吉市議会議員一般選挙……………6
- ハート・バリアフリー……………7
- 里見まつり/韓日記……………8
- くらしの交差点……………9～14
- ほけん……………15
- 伯耆しあわせの郷/キャンパスだより…16

2005 9・15

●倉吉市の人口(基本台帳) 52,808人(ー 3)男 24,988人(ー 10)女 27,820人(+ 7)世帯数 20,019世帯(+ 1)
●外国人登録者数 360人(ー 10)男 101人(ー 2)女 259人(ー 8)世帯数 308世帯(ー 9)(H17. 8. 31現在)



国勢調査

平成17年10月1日(土)

9月下旬から国勢調査員がおうかがいたします

あなたの調査票には

日本の大切な未来が つまっています。



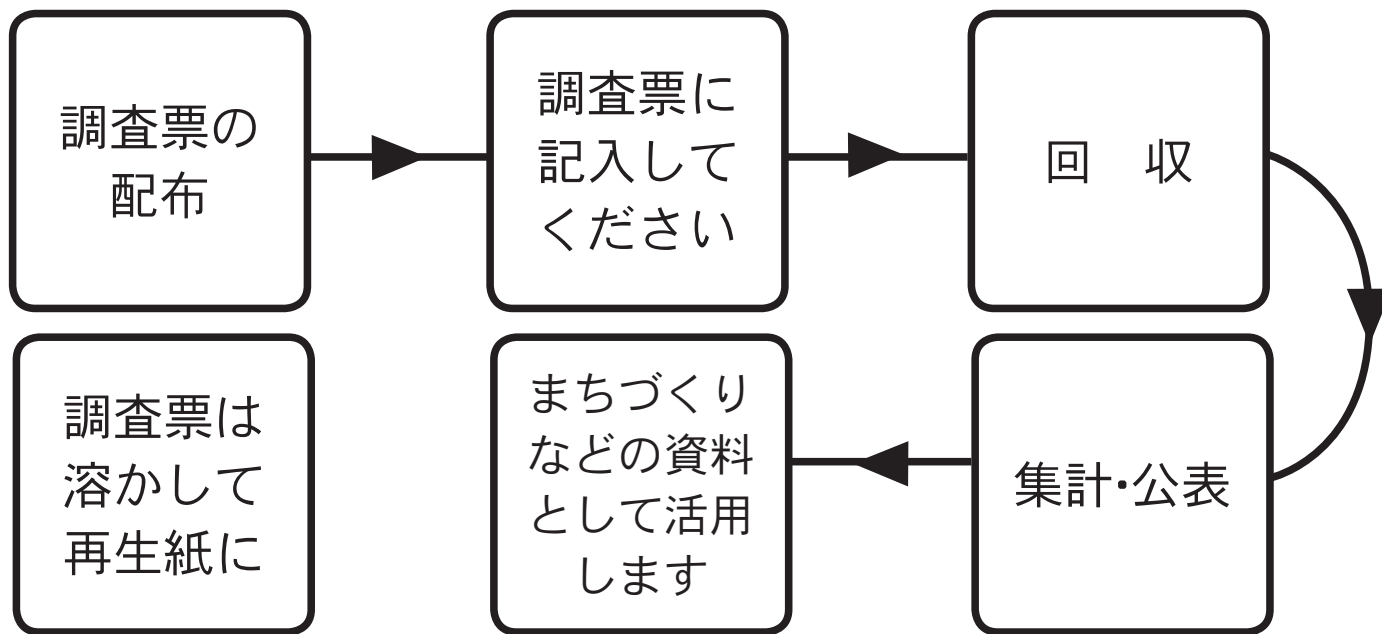
あなたとこのまちの21世紀のために10月1日、国勢調査を実施します。

5年に1度、日本に住んでいるすべての人を対象に行う大規模な統計調査です。

9月下旬から、国勢調査員がみなさんのお宅に調査票を配りにおうかがいします。調査票がお手元に届いたら、10月1日現在のみなさんの状況を記入してください。記入していただく項目は、男女の別、出生の年月、就業状態、通勤・通学地、住居の種類など17項目です。記入していただい

た内容は、統計を作成するためだけに使い、調査票は集計後に溶かします。調査票に書かれたことが他にもれることは絶対にありませんので、ご安心ください。

10月上旬までに、再び国勢調査員が調査票を受け取りにおうかがいします。



調査の結果は、今年の12月から公表します。

まず、人口や世帯数の速報値を、その後「高齢者世帯の状況」や「労働力状態、産業別構成」などを順次集計・公表していきます。

これらの調査結果は、まちづくりを進める貴重な資料として役立てていきます。現在、日本は少子・高齢化が急速に進んでいます。

みんなが暮らしやすいまちをつくらせていくため

には、住宅や福祉、医療の面でこういった対策が必要かを、調査結果から探っていきます。そのためには、正しい統計が必要です。もし、みなさんから回答が得られなかったり、回答内容が不正確、不完全だと、精度の低い統計になってしまいます。

あなたのまちの未来のために、あなたの現在を調査票に記入してください。

いよいよ国勢調査が始まります

10月1日、全国一斉に国勢調査を実施します。

この調査は、日本に住んでいるすべての人が対象になる、大規模な統計調査です。9月下旬から調査員が各世帯を訪問しますので、ご協力をお願いします。

世帯が不在の場合・・・

調査員が「連絡メモ」をポストなどにいれて
いますので、なるべく早く連絡をお願いします。



旅行などで不在にする場合・・・

10月1日～10日の間に留守にしたり、帰
宅時間が遅くなるような場合は、調査員にお知
らせください。

調査票の字が読みにくい場合・・・

大きな文字の「拡大文字調査票」や「点字調
査票」も準備していますので、調査員に申し出
てください。



犬を飼っている場合・・・

必ず鎖につないでください。また、家の中で
飼っている場合、調査員に飛びついたりしない
ようにしてください。

調査票の書き方などの問い合わせ先

倉吉市国勢調査実施本部（情報政策課内 ☎ 22-8150 / FAX 23-6127）

※訂正とおわび：市報9月1日号（4頁）に記載した記事にあやまりがありました。つぎのとおり訂正し、おわび申し上げます。

表題 誤：あなたの調査表には → 正：あなたの調査票には

国勢調査Q & A「Q プライバシーは守られるの？」のA 誤：調査員は外部の人の目に → 正：調査票は外部の人の目に

さあみんなで 健康づくりに取り組もう！

倉吉いきいき健康計画 (改訂版)

新倉吉市の誕生により、旧倉吉市と旧関金町の健康づくり計画を調整し、改訂版を作成しましたので、概要を紹介します。



計画の目的・目標

倉吉市では、現在4人に1人が65歳以上の高齢者で、年々高齢化が進み、その一方では、少子化が進んでいます。

成人期では、食生活・運動習慣など関係深い脳血管疾患・糖尿病などの生活習慣病が増え、それとともに認知症や寝たきりなどの要介護状態になる人も増えています。

また、乳幼児期は、生活習慣が乱れ、生活時間が夜型であったり、朝食を食べないなどの子どもたちが増加しています。

このような状況を踏まえて、すべての市民が健康でいきいきと生活できるために従来にも増して健康に関心を持ち、正しい知識を身につけ、自分の考えで健康増進を行っていくために、行政と地域などが連携し合いながら積極的に健康づくりに取り組めるよう、倉吉市の現状を考慮しながら、年代別に取り組むべき健康づくりの具体的な目標を示しました。

計画の理念

- (1) みなさんが自主的に取り組む健康づくり
- (2) みなさんの取り組みを支援するための環境の整備
- (3) みなさんと行政などが共有する健康づくり
- (4) 倉吉市らしい健康づくり

年代別の健康づくりの目標です。 それぞれの年代に応じて取り組みましょう！

育ちざかり期 (0～18歳)	働きざかり期 (19～69歳)	充実期 (70歳～)
<ul style="list-style-type: none"> ●朝食をしっかりとりよう。 ●家庭の味(我が家の味)を伝えよう。 ●塩分の少ないうす味の食事になれよう。 ●カルシウムを積極的にとり、かみごたえのある食事を取り入れよう。 ●喫煙がもたらす健康影響について知り、未成年者の喫煙を防止しよう。 ●妊娠・授乳期にはタバコは吸わないようにしましょう。 ●早寝・早起きの習慣をつけよう。 ●あいさつをする習慣をつくらう。 ●積極的に身体を動かそう。 ●テレビ・ビデオは見過ぎない。 ●大人自身が手本を示そう。 ●子どもの話に耳を傾けよう。 ●子育てについての情報交換をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●年に1度は、健康診査を受け、自分の健康状態を知ろう。 ●身体の調子が悪ければ、早く対応しよう。 ●バランスが良く、塩分の少ない食事を1日3回とろう。 ●適正体重の維持を心がけよう。 ●節度ある適度な飲酒をしよう。 ●週1～2回以上の運動習慣を身につけ継続しよう。 ●翌日に疲れを残さないよう睡眠時間の確保に努めよう。 ●喫煙がもたらす健康影響について知り、分煙・禁煙マナーを守ろう。 ●地区の行事に積極的に参加し、地域の人と交流の機会を持とう。 ●ストレスの上手な発散のしかたを身につけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●年に1度は、健康診査を受け、自分の健康状態を知ろう。 ●かかりつけ医をつくり、上手なかかりかたをしよう。 ●身体の調子が悪ければ、早く対応しよう。 ●バランスが良く、塩分の少ない食事を心がけよう。 ●自分にあった運動を続けよう。 ●家庭の中で自分の役割をつくらう。 ●地域の行事に積極的に参加しよう。 ●生活の楽しみを見つけ、積極的に地域の人たちと交流しよう。



※問い合わせ先：健康支援課 (☎ 26-5670/ ☎ 26-5660)